

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	終末期対応について、今年度の事例は、家族と主治医との双方で決定し、指示が出ているが、現在入居者の重度化も進んでおり、事業所でできることを十分に説明しながら、方針を共有し、施設職員も共にチームで支援に取り組む必要がある。	入居者、ご家族、職員が共に、穏やかに最期を迎えられるよう環境を整える。	①看取りについての勉強会を実施し、職員の意識を高める。 ②入居者の方の状態に合わせ、随時カンファレンスを実施し、チームで情報を共有することでより良い支援に繋げる。 ③その時々のご家族の気持ちに寄り添い家族のケアも行う。 ④匂い、音、光、湿度、温度等の周辺環境を整えると共に、ご家族と入居者が一緒に穏やかに最期を迎えられる環境を整える。	12ヶ月
2					
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。